

3. 千代田興業株式会社(秋田県)

～エンジニアリング企業の現場技術の担い手として～

会社概要

| | |
|------|--------------|
| 会社名 | 千代田興業株式会社 |
| 業種 | 金属製品製造業 |
| 代表者名 | 代表取締役社長 藤澤正義 |
| 設立 | 昭和26年 |
| 資本金額 | 9,600万円 |

1. 企業の概要と雇用の概況

(1) 企業の概要

千代田興業株式会社は、昭和26年に創業、建材・鋼材の販売からスタートし、昭和40年に需要増大に対応するため、市内の工業団地内に移転し、現在は鉄骨製造を主力としている。

当社は大手鉄鋼メーカー数社の指定加工工場に認定されており、安定した取引先を基盤に、経営基盤の充実を図り、今では「高度な設計技術と鉄構技術で建設業界に貢献するエンジニアリング企業」として着実に業績を伸ばしている。



平成14年には、ISO9001・2000の認証を取得するなど、確かな品質管理のもと、取引先の多様なニーズに応えている。さらに、建設事業部を立ち上げ、ビル、マンション、工場等の建設分野にも進出している。ちなみに、2005スローガンは「企業基盤の強化と新規事業の確立」となっている。

(2) 雇用の概況

従業員数は全体で134名、そのうち、24歳以下の若手従業員が35名、反対に55歳以上が27名となっている。また、60歳以上が10名で、うち「60～64歳」が4名、「65歳以上」が6名である

新規学卒採用は昨年が大卒 2 名、高卒 6 名で、中途採用が 4 名の合計 12 名を採用している。今年は新規学卒採用が大卒 1 名、高卒 4 名、他に中途採用が 5 名となっている。一方で退職する者も少なくなく、今年は 9 月までに 4 名(うち 2 名は今年採用した高卒者)が退職している。

勤務時間は午前 8 時から午後 5 時までで、休憩時間を除く実労時間は 7 時間 30 分となっている。

2. 高年齢者雇用・活用の背景

60 歳定年制を採用しているが、平成 15 年 6 月、継続雇用制度(再雇用制度)を導入した。本人が希望すれば、ほとんど無条件で 65 歳まで就業が可能であるが、さらに経営者自身は 70 歳まで残ってもよいとしている。

雇用契約は 6 ヶ月契約となっており、半年毎に継続を希望するかどうかを本人に確かめている。

こうした高年齢者雇用を積極的に推進している背景には、経営トップの理解に加え、技術的な職種が多いこと、高年齢者の勤労意欲が高く高年齢者が持っている技術・ノウハウを若い人が学ぶことが多く捨てがたいものがあるという事情がある。

3. 高年齢者雇用の実態

再雇用に入った高年齢者の仕事は、今まで従事していたことと変わらない。具体的な業務はいわゆる現場の仕事であり、溶接部門、組立て部門や鉄骨製品の管理等の面で能力が発揮されている。現在、69 歳の者が最高年齢者である。

勤務時間も定年前と同じでフルタイム就業である。賃金は、現職時より 3 割減となる。労務管理上は、健康面に配慮する位で、特別なことは行っていない。

4. 高年齢者雇用の課題

高年齢者雇用は今のところ、さほど問題なく進んでいるように見える。しかし、現行のような高年齢者雇用管理で、今後とも順調に行くかどうか一抹の不安が残る。最近、当社の場合もそうであるように、定年になったから、ほとんどの者が再雇用に入るものとするのは危険であり、高年齢者の価値観の中には、経済的豊かさを求めて就業を継続するという選択ばかりでなく、少しは貧しくなっても親の介護や社会貢献の道に価値を見出そうとする者も増えてきつつあることも考慮しておく必要がある。そのためには、高年齢者の一人一人の雇用管理にもっと力を入れることではないかと考えている。